

# 令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>① 個に応じた進路を実現するために、教育課程の編成と履修指導の充実を図る。</p> <p>② 基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせ、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力をはぐくむことができる授業作りを進める。</p>	<p>① 生徒の多様な進路に合わせ、生徒一人ひとりに丁寧で適切な履修指導を行う。</p> <p>② 教授法を工夫するとともに、ICT機器を活用し、生徒の理解度に合わせた分かる授業を実践する。各教科や総合的な探究の時間においてはSDGsの観点から幅広い知識と教養を養わせる。</p>	<p>① 効果的な履修指導を行うため、教員が共通理解できるような研修資料を充実させ、個々の教員の履修指導能力向上を図る。</p> <p>② 授業力を高めるための研修やICT機器活用研修会を実施する。また、生徒のSDGsに対する意識を高めるために各教科で取り入れる。</p>	<p>① 教員の履修指導能力を向上させることができたか。また、生徒が満足できる履修指導をすることができたか。</p> <p>② 様々な教授法を実践したり、ICT機器を活用し、よりよい授業を実施できたか。SDGsに関する問題について興味を持たせ、自分の考えや意見を表現させることができたか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>① 生徒の自主自律を目指した生徒指導および個に応じた外国人支援と教育相談の充実を図る。</p> <p>② 生徒がお互いを尊重し、協力できる体制を構築する。</p>	<p>① 各種研修会、年次集会を通して、生徒の主体的に行動する意識を高める。 SC・SSW・多文化コーディネーターとの連携を図り、円滑な支援を目指す。</p> <p>② 感染症対策緩和に応じた学校行事のあり方を検討し、着実に実施していく。また、行事への生徒の関わりを増やし、協力体制を構築する。</p>	<p>① 各年次で計画的な研修を実施する。また年次の生徒の状況を踏まえて集会等での継続的な指導を行う。本校の教育課題に沿った教員研修を実施する。アンケートを活用し円滑なチーム支援に繋げる。</p> <p>② 学校行事のあり方や時期を生徒の意見を集約する。また、生徒会、実行委員会で検討し、生徒の主体性を引き出せる形で実施する。</p>	<p>① 各年次で研修会を実施できたか。生徒状況を集約し、各年次の生徒指導に活かすことができたか。要支援生徒についてアンケート等を活用し、必要な支援につなげることができたか。</p> <p>② 一人ひとりの行事の振り返りを検証し、達成感や満足度を高めて実施できたか。本校の満足度調査の「学校行事に満足していますか」において、昨年度より満足した割合が増えたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>生徒が自ら希望した進路に対して、将来設計に基づいたキャリアを持続的に形成できるように、キャリア教育の充実と個々の進路支援を行う。</p>	<p>① 生徒自らキャリアデザイン・キャリア形成ができるように進路ガイダンスの内容を充実させる。</p> <p>② 川崎高校の特色を活かした進路関係の事業に、希望生徒の参加を促す。</p>	<p>① 高校生向けの講義、分野講演、学校紹介、模擬授業等の分科会を多く設定するとともに、志望理由書や面接等の時期に応じた進路ガイダンスを行う。</p> <p>② 令和6年度から担当が変わったが、高大連携・高専連携の生徒が参加しやすいように声掛けの工夫や締切時期等に注意する。</p>	<p>① アンケートや振り返りシート等から、生徒自らキャリアデザイン・キャリア形成ができていると判断できるか。</p> <p>② 高大連携・高専連携の講座について、参加人数が増えたか。</p>
4	地域等との協働	<p>積極的に地域等に本校の魅力を発信するとともに、地域と協働できる学校作りを進め、主体的に考え、協調の精神を備えた、社会に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>① 学校説明会等の充実を図り、本校の魅力と特色を入学希望者を含めた地域等へわかりやすく発信する。</p> <p>② 地域の学習センターとしての機能を発揮する。</p>	<p>① 学校見学会や説明会等のあり方について再検討し、参加者の満足度を上げられるような企画を実施する。</p> <p>② 社会人聴講や外国籍生徒の学習支援を充実させる。</p>	<p>① 説明会等の広報活動全体を通して、参加者の満足度を上げられ、学校の魅力と特色を理解してもらえたか。</p> <p>② 地域の学習センターとしての認知度が上がったか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>教育環境を整備し、質の高い教育を与えるような学校運営を実施する。</p>	<p>① ICT環境の整備を継続して進める。</p> <p>② 安心して生活できるような様々な災害に備えている。</p>	<p>① ICTに関連した備品の整備をし、教育環境を充実させる。</p> <p>② より実践的な避難訓練を行っていく。学校に留まる生徒・教職員の備蓄食料等の整備を積極的に進めている。</p>	<p>① 生徒・職員が有効的に備品等を使用することができたか。</p> <p>② 防災への意識が学校全体として高めるとともに、災害への準備を整備できたか。</p>